

第9回 揮発性有機化合物（VOC）の排出管理状況に関する フォローアップ調査結果

日本製紙連合会の環境行動計画では、環境リスク問題への対応として「化学物質のリスク管理」を掲げている。これに関連して、揮発性有機化合物（VOC）の排出管理状況を確認するため、本年4月に2014年度フォローアップ調査を実施した。

なお、従来はVOCのうち年間総排出量が多かった5物質（トルエン、メチルエチルケトン、酢酸エチル、イソプロピルアルコール及びメタノール）を排出管理の対象とされていたが、第7回調査からは全ての物質を対象としている。

1. 調査項目

調査対象：50社125工場（会員会社32社及び一部関連会社、未回答：1社1工場）

調査年度：2000年度（基準年度）及び2004～2013年度

調査項目：工場・事業所別の全てのVOCの使用量及び排出量

2. 調査結果

(1) 全国の排出について（結果を表1及び図1、2に示す）

2013年度の排出量の削減率は86.9%であり、VOC排出抑制の目標とされている「基準年度比3割程度削減」を十分に達成している。

表1) 全国の年度別使用量及び排出量（対象：60物質）

(単位:トン)

		2000年度		2011年度		2012年度		2013年度	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
全国	合計	17,536	9,533	15,435	1,324	14,062	1,219	13,943	1,252
	削減率			86.1%		87.2%		86.9%	

参考) 全国の年度別使用量及び排出量（対象：5物質）

(単位:トン)

		2000年度		2011年度		2012年度		2013年度	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
全国	合計	14,968	9,269	12,866	1,166	11,928	1,049	12,122	1,041
	削減率			87.4%		88.7%		88.8%	

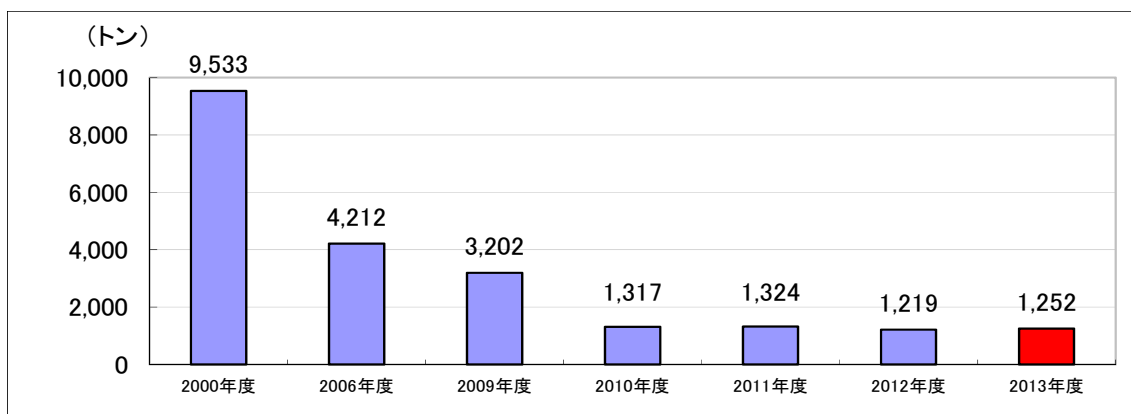


図 1) 全国の排出量推移

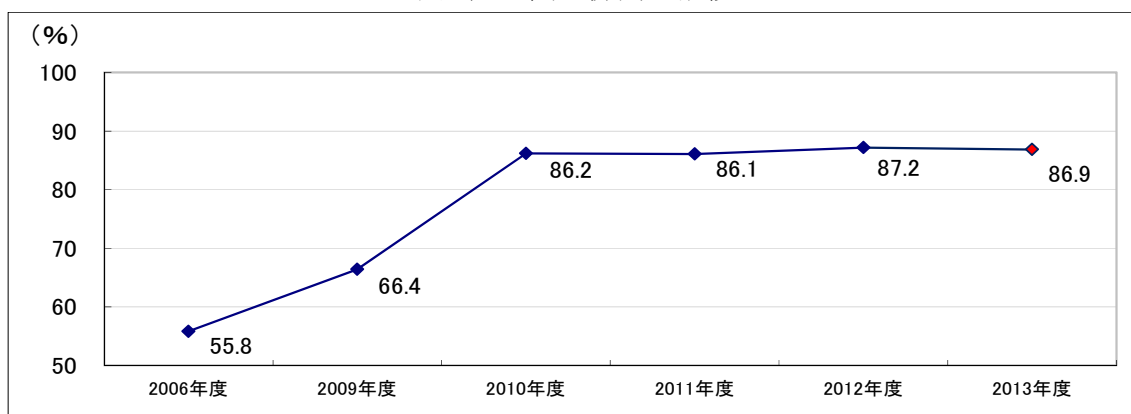


図 2) 全国の削減率推移

(2) 関東地区の排出について (結果を表 2 及び図 3、4 に示す)

わが国で排出源が多い関東、中部及び関西地区のうち、当業界では排出量の多い関東地区のみを参考指標として全国と併せて排出管理している。

2013年度の排出量の削減率は88.3%であり、全国と同様にVOC排出抑制の目標とされている「基準年度比3割程度」を十分に達成している。

表 2) 関東地区の年度別使用量及び排出量

(単位:トン)

		2000年度		2011年度		2012年度		2013年度	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
関東地区	合計	3,633	2,054	2,662	261	2,224	231	2,575	239
	削減率			87.3%		88.7%		88.3%	

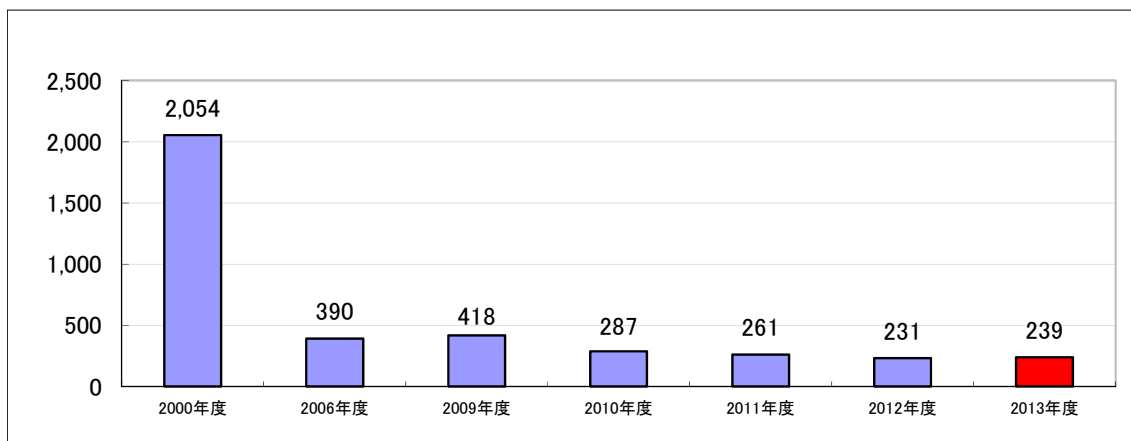


図 3) 関東地区の排出量推移

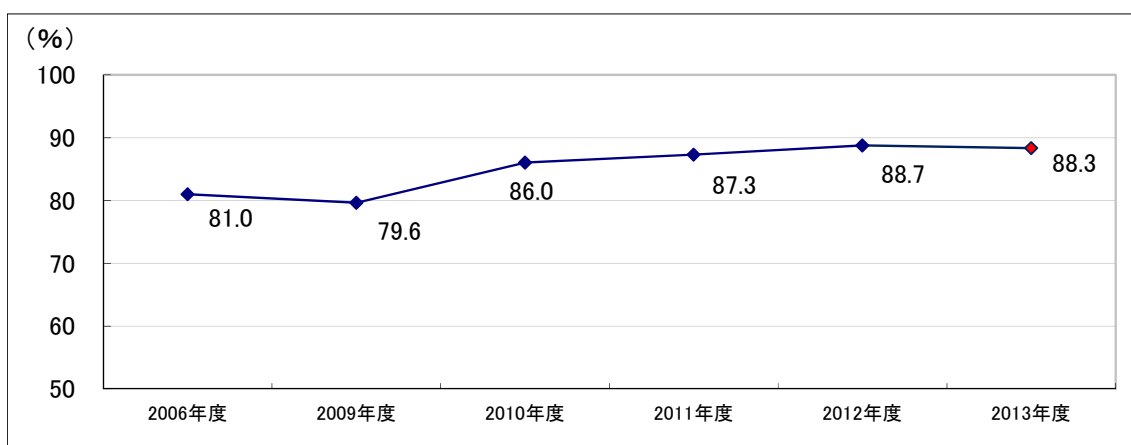


図 4) 関東地区の削減率推移

4. 2014 年度以降の取組みについて

引き続き全ての VOC の排出抑制に努め、削減率の維持を図る。

以上